

自転車事故はなぜ無くならないか

～歩行者と運転手の視点に立ち、原因を追究する～

福岡県立北筑高等学校1年3組 今村羽菜 高木望夢 手取屋菜采 平野柚妃 山中咲紀



きっかけ

- ・私たちが通っている北筑高校の自転車事故件数が多い
- ・同じ年の高校生が交通事故に遭ったというニュースを聞いた
- ・実際に私たちが登下校する際に、自転車に乗っていて怖い思いをしたり、ヒヤリとした経験がある
- ・友達が自転車事故に遭った

実際に事故に遭った人についてみた

北筑高校1年H君(16)
僕は右に曲がりたいので自転車に乗っていると、右方向から車が来ました。相手も僕も急いで思いっきり止まりましたがお互いに、『撞つてくれた』と思い込んで衝突しました。人生初の経験で、この先どうなるのか不安でした。右足負傷。



北筑高校1年Kさん(15)
その日はいつもより遅い時間に家を出たため、少し遅めに自転車を漕ぎました。前方が工事中だったため、前が見にくく、道が狭かったため、前から来た車に気づきませんでした。ぶつかった直後も、相手に逃げられてしまい対処法がわからず、困惑した。右手負傷。



発表内容

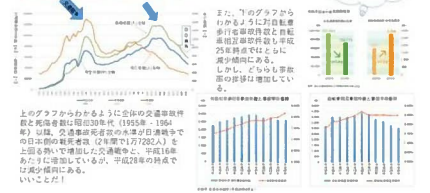
1. 全国の交通事故の現状
2. 福岡県の自転車事故の現状
3. 自転車事故の原因
起りやすい場所
自転車乗後
自転車にかかわる横断
自転車の乗り方
自転車を運転する際の意識
4. 北九州市の取り組み
5. まとめ
6. 私たちにできること

今回の探究活動での自分たちのゴール

- ・交通事故の現状や原因について知ってもらう
- ・危険意識を高める
- ・自転車の乗り方について再度確認する

事故の減少

交通事故の現状

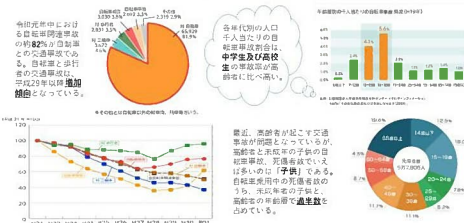


高校生の自転車交通事故の現状、比較

全国の高校生の自転車交通事故の割合は約**1.63%**であるのに対して、福岡県の高校生の自転車交通事故の割合は約**2%**である。このように、福岡県は高校生の自転車交通事故の件数が全国と比べて高い。そして、福岡県の自転車交通事故の件数は、静岡、群馬に次いで**3位**にランクインしている。

調べてみた

事故が起きた原因と年齢



環境要因

天候や道路の状況

- ・道路環境の不備
- ・事故発生時の時間帯
悪天候

車両要因

車両の特性

- ・整備不良
- ・車両の構造ミス
- ・製造ミス

主体要因

運転者の行動や規範を守る意識

- ・不注意
- ・疲労、寝不足
- ・運転者の技術不足
- ・心理的な問題

起りやすい季節・時間・場所

- ・季節
交通事故は、12月が年間を通して一番多い。また、日照時間が最も短く、死亡事故の発生が多い夜間の時間帯が長くなることも要因のひとつ。
- ・時間
交通事故が多い時間帯は朝と夕方から夜。交通事故はいわゆる通勤時と帰宅時に多く発生している。
- ・場所
自転車事故のほとんどは交差点で多く起こっている。交差点の中でも特に右の歩道のような信号機のない交差点や横断歩道の多い交差点が多い。



解決策は？

自転車の点検を定期的にする

ギアやチェーンの故障など技術的な故障トラブルが原因で、ヒヤリ・ハットを感じた経験者は2人に1人いる。それが、もしもしたら大きな事故につながっていたかもしれない。それをなくするために定期的に自転車の点検を行う。



自転車点検の合言葉

- ブ → ブレーキ
- タ → タイヤ
- は → 反射材
- しやべ → しやべ
- ベル → ベル

自転車の乗り方

- ・自転車は車道が原則、歩道は例外
- ・車道は左側を通行
- ・歩道は歩行者優先で、車道寄りを行く
- ・飲酒運転をしない
- ・二人乗りをしない
- ・並列の禁止
- ・夜間はライトを点灯
- ・交差点での信号遵守と一時停止で安全確認
- ・傘さし運転、携帯電話、ヘッドホンの使用禁止

県内初の環状交差点を設けた北九州市

<ラウンドアバウト>

欧米で普及している円形の交差点。カーブしているため速度が抑えられ、車両同士が交差することもないため、重大事故の減少につながるとされる。信号機がないので災害時の停電などにも強く、車や横断者が信号を待つ必要なので渋滞の緩和も期待されている。



事故の減少や渋滞の緩和が期待される一方で、視覚障害者から「安心して横断できない」という声があがっている。県内初のラウンドアバウトが設けられた北九州市では、視覚障害者が少しでも歩きやすくなるようにと工夫を凝らしている。



交差点に入る車に対しては、横断歩道の20～40メートル手前の車道に、点字板を設置。タイヤがその上を走る音で、車が近づいていることに気づけるようにした。環状道路を走る車が優先で、進入車は徐行や一時停止をする。日本では2014年、改正道路交通法に基づき設置が広がった。

※県警によると、県内に2カ所あるラウンドアバウトでは、2017年3月に運用が始まってから2018年8月までの時点で人身事故は起きていないという。

自分が加害者になるかもしれないという意識をもって運転する

自転車は運転免許を必要としない軽車両であるため、「いつも来ないから、きっと今日も車や人は来ないだろう」という思い込みや、自分の運転技術を過信しやすくなる。それによる一時停止や確認不足で自転車事故は起こる。このような自転車事故を防ぐために、運転手は面倒くさくても「止まる、見る、聞く」ということを徹底しなければいけない。また、見えていない危険だけでなく、見えていない危険を予測して運転をしよう。時と場合をしっかり見極め、今のくらいのスピードで、どこを運転すればいいのかを考えながら運転をすることで、事故が起こる可能性を減らすことができるだろう。

自転車保険

もし自分が自転車事故の加害者になった場合、賠償金を払わなければならない。その金額は数千円に上ることもある。その場合、自転車保険に入っていれば補償を受けることができる。しかし、右のグラフのように自転車保険に入っていない人は約半数もいる。自転車保険には多くの場合個人賠償責任補償がついているため、損害賠償に補償を受けることができる。しかも自転車保険に加入していれば、自身の治療費の補償や示談交渉サービス、弁護士費用の補償などがある。



TSマーク
自転車安全整備士が点検確認した普通自転車に貼付されるもので、このマークには損害保険と賠償責任保険、被害者見舞金(黄色TSマークのみ)がついている。

まとめ

- ・交通事故の中で自転車の割合が多い
- ・高校生の自転車事故の割合が多い
- ・事故原因
 - ◆環境要因…事故が起きやすい場所 交差点
 - 時間 朝、夕方から夜
 - 季節 12月
- ◆車両要因…自転車点検不足
- ◆主体要因…標識など交通ルールの知識が足りない
- 危険意識が低い
- 交通ルールが守れていない



点検中のH君



安全走行中のKさん

私たちにできること

- ・自転車の点検を定期的に行う
➢日時を正確に決めて「ブタはしやべル」に沿って点検する
例) Aさんの場合 毎月第三日曜日に妹と一緒に点検しよう！
- ・必ず保険に加入する
➢加入すると事故を起こしてしまった時に補償を受けられる
- ・危険意識をもって運転する
➢止まる、見る、聞くを徹底して、見えてない危険を予測して運転する
- ・学校でできることは？
➢時間に余裕をもって登下校する

自転車に関する標識クイズ

この標識、何を表していますか？
正解は1から順番に読んでね

1. 歩行者と自転車専用通行帯
2. 自転車専用通行帯
3. 歩行者専用通行帯
4. 自転車専用通行帯
5. 歩行者専用通行帯

A 自転車及び歩行者専用
B 自転車通行止め
C 自転車横断帯
D 歩行者専用道路
E 自転車以外の軽車両通行止め

第2回高校生 SDGs 選手権大会 ポスター発表部門

がっこうめい 学校名	福岡県立北筑高等学校
発表タイトル	自転車事故はなぜ無くならないのか ～歩行者と運転手の視点に立ち、原因を追究する～
設定した課題	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
関連する SDGs のゴール・ターゲット	3・6 2020までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
ポスターの説明	全国の交通事故について調べ、自転車事故に注目し環境要因、主体要因、車両要因の3つの観点に沿って、事故の原因を調べた。また、実際に事故にあった生徒に話を聞いたり、自動車学校の指導員の方に直接インタビューしたり、事故が起こりやすい場所に足を運び資料を集めた。高校生の私たちも起こらないやすい解決策をまとめた。
制作の意図や アピールポイントなど	信号をイメージしたデザインを取り入れ、テーマ内容がパッと見ただけで分かるようにした。知識を深めてもらうために、最後にクイズを載せた。
苦労した点	全国の高校生と福岡県の高校生の自転車交通事故割合を比較するために、資料を基に演算を行った。
その他(自由記載)	運転者や歩行者にこの想いが届きますように。